

<総括>

2020 年度も新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令等により、予定していた事業が次々と中止となった。しかしその一方で、オンライン会議ツール Zoom の利点を生かして、現地（バリ島）とリアルに結びつき新たな事業を展開することができた。福岡に居ながらにして、海外支援ができる道が開かれた。

2018～2020 年度 中期 3 か年計画「NPO らしく、NGO らしく、国際交流団体らしく」

- ・ NPO らしく…国や宗教の差別なく暮らせる福岡へ
- ・ NGO らしく…インドネシアの課題を解決するための支援
- ・ 国際交流団体らしく…日本人・インドネシア人のネットワーク強化、交流機会の創出

2020 年度は中期 3 か年計画の最終年度。「トゥマンハティふくおか」らしい国際協力や国際交流のスタイルができあがってきた。

(1) 国際協力事業

●マタケン学校/オンライン日本語ボランティア講座整備事業

バリ州デンパサール郊外にある「マタケン学校」（日本語ボランティア教室）の生徒たちが、日本からオンライン授業を受けられるよう、教室にリモート環境の整備を行い、バリと福岡を繋いで 6 回にわたる日本語交流会を行った。

実施期間／2020 年 11 月～2021 年 3 月

内容／①リモート環境の整備…パソコン及び周辺機器の購入 ②日本語での交流会 全 6 回

③マタケン学校用の日本語書籍購入（23 冊）、現地郵送

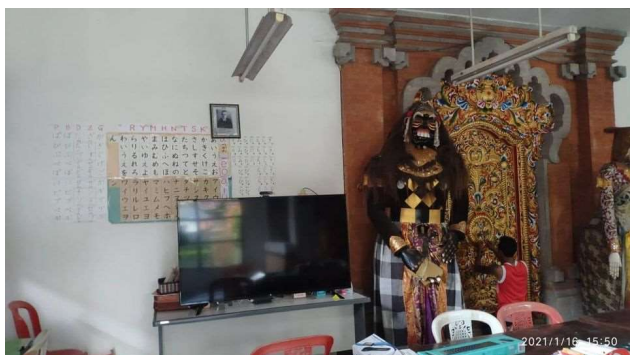
参加者／マタケン生徒 5 名、マハ・サラスワティ大学の学生 12 名

日本語クラスみらい（15 名）

従事者／古田、自見、長岡、森山、シタ、ベティ、宇野、弥栄

※FUNN・真如苑「九州地域 NGO 活動活性化助成金」（コロナ型）の活用

※オンライン会議ツール Zoom 使用



●マハ・サラスワティ大学「通訳演習授業」への協力

マハ・サラスワティ大学外国語学部日本語学科の逐次通訳演習授業で「福岡」について話した。大学生の日本語能力のスキルアップを支援。

実施日／2021年4月29日（木）

従事者／弥栄

参加者／マハ・サラスワティ大学の学生 107名

日本側 日本人7名

留学生 OG（ヤヤ）1名

※オンライン会議ツール Zoom 使用



●バリ州の特定技能人材候補者との日本語交流会

バリ州ジュンブラナ県ヌガラを送り出し機関“アサオリ”で日本語を学ぶ特定技能人材候補者たちと3回にわたって Zoom で日本語交流会を行った。ブレイクアウトルームに分かれて日本語で会話をした。後半は、毎回テーマを設けてゲストスピーカーに話をしてもらった。特定技能人材候補者及び送り出し機関の現状を知ることができた。

従事者／長岡、弥栄、ベティ

参加者／インドネシア人14名、日本人11名

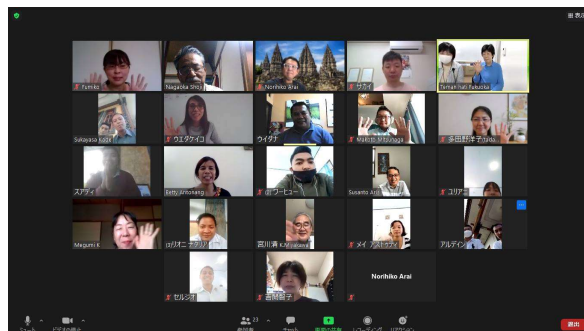
実施日／2021年5月～6月

①5/29（土）日本での生活費（坂井、湖尻）

②6/12（土）日本語の勉強法（リナ）

③6/26（土）日本で働く心構え（アリス）

※オンライン会議ツール Zoom 使用



（2）国際交流・国際理解教育の推進事業

●アンクルン演奏チーム“アンクルンるん♪”の練習

メンバー／16名（通年）

●グッド アクティビティ フェスティバル 2020

インドネシア伝統竹楽器アンクルン演奏チーム

「アンクルンるん♪」が参加

実施日／2020年12月6日（日）

場所／福岡市NPO・ボランティアセンター あすみん

従事者／10名（アンクルンるん♪メンバー）

演奏曲目：

①ブルン・カカ・トゥア ②ブンガワン・ソロ

③ひまわりの約束 ④ラササヤング ⑤心の友 ⑥ハナミズキ



(3) 国際社会に開かれたまちづくりの推進事業

●福岡在住外国人「特別定額給付金」申請手続き等サポート事業 ※前年度より継続事業

日本語の読み書きが不自由な（かつネット環境が整備されていない）福岡在住外国人のために、対面で相談を受けながら「特別定額給付金申請書」作成等のサポートを行った。

※後援／福岡よかトピア国際交流財団 協力／福岡市内の日本語ボランティア教室

実施日／2020年5月～7月4日（助成金事業）

2020年7月5日～8月31日（自主事業）

従事者／古田・井上・自見・弥栄

場所／福岡市国際会館・あすみん及び公共施設

※福岡市「あすみん夢ファンド助成金」（コロナ型）活用

●職業性ストレス簡易調査票（57項目）多言語化事業 2か国語の翻訳

コロナ禍の留学生支援の寄付を受け、ヒンディ語、アラビア語の翻訳を留学生2名に依頼した。

実施日／2020年8月

参考＜アクセスログ（2020年5月13日～2021年7月31日）＞

訪問者数	1341
ページビュー	2973（うちインドネシア語149、ミャンマー語111、タイ語101）
ダウンロード報告件数	21件（ご報告いただいた件数のみ ※報告は任意）
ダウンロード言語ベスト3	①インドネシア語 ②ミャンマー語 ③タイ語、カンボジア語

※外国人を多数受け入れている関東・中部エリアの大手企業（外国人特定技能・技能実習生受け入れ機関 運送会社など）が多かった。

<感想>

◆ストレスチェックを担当しています。弊社でも日本全国のサービスセンターに技能実習生が働いています。その実習生たちの言語が様々でストレスチェック受検にあたって翻訳がないかと検索したどり着きました。

◆外国人が増え、日本語が読めないためいろんな言語が必要となり対応しきれずにいたので大変助かりました

◆希少言語の翻訳とても助かりました。

◆ストレスチェックミャンマー語版を探していました。

◆ラオス語をご提供いただける機会があれば大変幸甚です。

(4) グローバル経済の推進事業

●実施しなかった

(5) インドネシア語・英語・日本語の翻訳・通訳事業

●実施しなかった

(6) その他、当法人の目的達成のために必要な各種特定非営利活動に係る事業

●Zoomインドネシア語教室

コロナ禍でバイトが減ったインドネシア留学生支援のために Zoomインドネシア語教室を開催した。

実施日/2020年10月～2021年3月

初級(火) 19時～20時×20回(講師/アルド 参加者/3名)

中級(月) 19時～20時×20回(講師/アウリア 参加者/4名)

※2020年12月18日 忘年会(ハイダルにて)



●インドネシア人材に関する特定技能制度手続き調査及び通訳

株式会社ケーズプラン(特定技能登録支援機関)の依頼

実施日/2021年3月

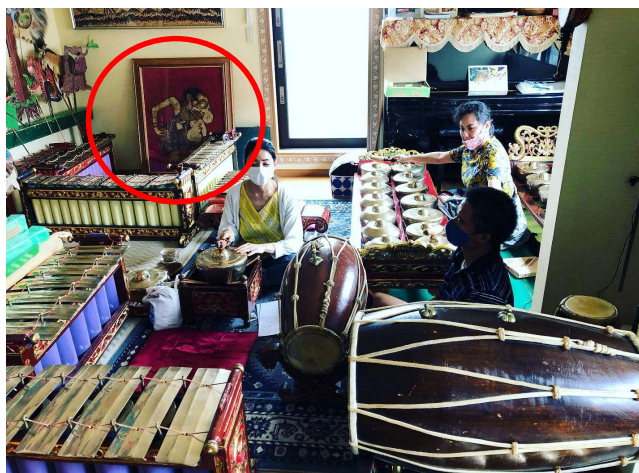
担当/弥栄、ヤヤ(インドネシア現地にて来日希望者と調整・連絡係)

【その他の活動】

●バティック絵画の寄贈サポート

実施日/2021年7月

「故人が大切に飾っていたバティック絵画をインドネシア関係者に譲りたい」というご遺族からの希望で、大阪の「ハナ☆ジョス」を紹介した。



●2020年10月17日(土) 在日インドネシア留学生協会福岡支部新役員との顔合わせ

●2020年12月 JICA「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」に団体登録

<https://jp-mirai.org/>

※2021年5月 活動計画書提出

- 2020年12月14日（月）NGO福岡ネットワーク&JICA 外国人労働問題に関するラウンドテーブル
場所／NGO福岡ネットワーク
従事者／古田・自見・坂井・弥栄
- 2020年12月26日（土）インドネシア人クリスチャンのクリスマス会に参加
場所／そぴあしんぐう多目的ホール
参加／森山・ニッタ・坂井・弥栄
- 2021年1月24日（日）九州英数学館国際言語学院と情報交換会
内容／コロナ禍のインドネシア留学生事情
従事者／弥栄 ※オンライン会議ツール Zoom 利用
- 2021年2月5日（金）リモート倶楽部 FUNN／2021年2月「《やさしい日本語》で喋れますか？」
内容／職場などで外国人と上手にコミュニケーションするための話し方“やさしい日本語”のコツ
スピーカー／自見（賛助会員）※オンライン会議ツール Zoom 利用

【掲載誌】

- NGO福岡ネットワーク機関紙「国際協力ニュース」137号に記事を寄稿。
内容／多文化共生とは何か、福岡市の動き、当会の活動、当会の今後のビジョンなど。
- 西南学院大学広報誌「Re: Spirit No. 10」にコロナ禍のボランティア活動を取り上げていただいた。



※コロナ禍で中止

- インドネシアカルチャーディ 2020
- 2020年12月 福岡市総合図書館ロビー アンクルンクリスマスコンサート
- 2021年1月24日 インドネシア人留学生や技能実習生たち対象の茶道の体験教室
- 2021年5月3日 博多どんたく港まつり パレード&演舞台